



## 【指導事例 1】

### 1 主 題 「よりよく生きる」〔よりよく生きる喜び〕

### 2 ねらい

困難にくじけることなく、江差追分を歌い続け、日本中に広めていった喜一の生き方を通して、強い意志をもった人間の生き方を理解し、よりよく生きていこうとする心情を育む。

### 3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、江差追分を日本中に広めた浜田喜一の生き方に触れることを通して、強い意志をもった人間の生き方を理解し、よりよく生きていこうとする心情を育むことをねらいとしています。  
 前半では、子守歌代わりに聞いていた江差追分にのめり込み、人前で唄うことに楽しさを見出していく浜田喜一の姿について触れています。  
 後半では、思うように唄えなくなったり、人々に民謡を唄い伝える難しさを感じたりしながらも、大好きな江差追分を唄い続ける浜田喜一の姿について触れています。  
 指導に当たっては、浜田喜一が多くの困難を乗り越えて自分の道を切り拓いた生き方について多面的・多角的に話し合い、自分なりの選択をしてよりよく生きるために努力していくことについて深く考えさせることが重要です。

### 4 展開例—①「喜一が困難を乗り越えたことについて話し合う活動を通して、よりよく生きることについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 江差追分について知る。</li> <li>○ 江差追分を聞いたことはありますか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いたことはあるが、歌えない。</li> </ul> </li> <li>● 困難に直面した時の生き方について話し合う。</li> <li>○ 今までに乗り越えることが難しい困難にぶつかったことはありましたか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動で上達せず悩んだときがあった。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江差追分を鑑賞し、感想を発表させる。</li> <li>・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材「江差追分を日本中に広めた」を読み、話し合う。</li> <li>○ 喜一は、どんな人物でしょう。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみは歌うことで、歌うことにのめり込んだ。</li> <li>・5歳で追分大会に初出場した。</li> </ul> </li> <li>○ 喜一の人生には、どのような困難があったのでしょうか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・思い通りに声が出なくなった。</li> <li>・民謡で流しをしると言われてたが、なかなかうまくいかなかった。</li> </ul> </li> <li>◎ 喜一が困難を乗り越えられたのは、どんな支えがあったからでしょうか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌が好きで、たくさんの人に聴いてもらいたいという気持ち。</li> <li>・家族や知人の思い。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜一が、思い通りに声が出なくなった時の気持ちを話し合い、人間理解を深めさせる。</li> <li>・喜一が、民謡を愛する気持ちを大切に、困難を乗り越えようとしているよさについて、多面的・多角的に話し合い、価値理解・他者理解を深めさせる。</li> <li>・個人で考える、グループで協議する等、学習形態を工夫する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間としての生き方について考える。</li> <li>○ 自分にとって、よりよく生きていく上で、大切なことは何だと思えますか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が決めたことに諦めない気持ちをもつ。</li> <li>・困った時は、誰かに相談する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢や目標について、自分の人間としての生き方を振り返り、自己理解を深めさせる。</li> <li>■ 困難や失敗があっても、目標に向かってやり遂げることの大切さについて、自分との関わりで、考えを深めている。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教師の説話を聞く。</li> <li>※教師が印象に残っている先人のエピソードについて話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の心に残る先人について語ることにより、困難にも自分なりの方法で乗り越えていこうとする心情が育まれるようにする。</li> </ul>

## 【指導事例 2】

### 1 主 題 「心をのせて伝えゆく」〔郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〕

### 2 ねらい

葛藤と向き合い、自分の決断によって唄い続け、伝統芸能である江差追分を唄い伝えていった喜一の生き方を通して、郷土の伝統と文化を尊重し、伝えてきた先人の努力を知り、郷土を愛する態度を育てる。

### 3 展開例—②「喜一の生き方について話し合う活動を通して、郷土の伝統と文化の尊重について考える展開」

### 4 主な学習活動

(1) 喜一の人生は幸せだったのだろうか。

- ・ 江差追分を普及できたから幸せだった。
- ・ 地元の伝統を伝え続けることができたから幸せだった。
- ・ 賞を取ったりして認められたから幸せだった。

(2) 自分たちの郷土で、この後の世代に残していきたいものはありますか。

- ・ 特産物は郷土の自慢なので大事にしたい。
- ・ 秋祭りがなくなると寂しい感じがするので続いてほしい。
- ・ 自然の豊かさは自分たちの力で守っていききたい。

(3) この後の世代の人々に郷土の伝統を伝えていくために、自分たちができることを考えてみよう。

- ・ 子どもに、楽しさやよさを伝える。
- ・ 自分がやり続ける。
- ・ 仕事を引き継いで、覚えていく。

## □ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

### ■ 国語科

読むことの、目的に応じて本や文章を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする学習において、伝記などの読書活動を行う際に、本教材を活用することを通して、読書の分野を広げることができるようにする。

### ■ 社会科

公民的分野の私たちと現代社会の学習において、本教材を活用することを通して、現代社会における文化の意義や影響を理解したり、我が国の伝統と文化に関心をもち、文化の継承と創造の意義に気付いたりすることができるようにする。

### ■ 音楽科

郷土の伝統音楽を調べる学習において、本教材を活用し、江差追分の伝統や独特の楽譜、節などについて触れることを通して、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて興味・関心を高めることができるようにする。

### ■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、自分の弱さを克服することの大切さについて話し合ってもらおうよう依頼し、生徒が進んでよりよく生きようとする意欲を高めることができるようにする。